

令和5年度 学校経営方針

- 1 教育目標 校訓「誠実勤勉」「敬愛和親」「積極進取」のもと、新しい時代を主体的に切り拓いていくことができる自立した人間を育成する。

2 校訓と育成を目指す資質・能力の対応

《校訓》

《育成を目指す資質・能力とその内容》

誠実勤勉

実行力：自ら目標を設定し、それに向けて行動する力

敬愛和親

協働力：集団における役割を理解し、目的達成のために他者と協力する力

積極進取

探究力：自らの課題を見つけ、解決に向けて何をすべきか考える力

3 教育目標達成のための具体的な方策

(1) 授業の充実

- ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、体験活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れた指導を行う。
- イ 生徒一人一人の実態を踏まえ、ICT機器の効果的な活用や、指導の改善につながる評価の工夫など、積極的に研修に取り組む。

(2) 生徒指導の充実

- ア 生徒一人一人に寄り添った指導を行い、生徒、保護者及び教職員の信頼関係を構築する。
- イ 挨拶、服装容儀、時間厳守、情報モラル等の指導を徹底し、望ましい人間関係を構築させる。
- ウ 不登校、いじめ、問題行動等を未然に防止するため、生徒理解に基づいた教育相談を充実させる。
- エ 特別な配慮を必要とする生徒に対する理解を深め、適切な指導と支援を行う。

(3) キャリア教育の充実

- ア 生徒一人一人が、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力を育成するため、キャリア発達を促す進路指導を充実させる。
- イ 高校三年間を見通した進路指導を行い、生徒が自分の生き方を自分で決定できるよう、生徒個々の意識を一層強化させる。

(4) 特別活動、部活動の充実

- ア 学校行事等において、生徒が自主的に取り組むよう工夫し、集団への所属感や連帯感を深めさせる。
- イ 部活動やボランティア活動等に積極的に参加させ、様々な人達と関わらせることにより、他者を認める心や自己肯定感を育む。
- ウ 部活動においては、短い時間で集中して取り組む指導を工夫し、生徒に適切な休養を取らせながら、メリハリのある指導を行う。

(5) その他

教職員が思いを一つにして、生徒の指導にあたる職場環境の形成に取り組む。